

コミュニティ・スクールだより

令和7年度 第7回 学校運営協議会

開催 1月29日(木) 14:00~15:30 場所 校長室

出席者(敬称略) <コミュニティ・スクール委員 5名>

武藤 貴子…地域学校協働本部コーディネーター, 富士見台地区協議会会長

内藤 恵美…健全育成推進地区委員会副会長

木村 一夫…学校施設開放委員会会長

瀬戸 宏…令和7年度PTA会長

阿部 美里…地域学校協働本部コーディネーター

小俣 弘子…校長 <事務局> 榎本 弘和…副校長

次第

- 1 委員長あいさつ
- 2 学校長あいさつ
- 3 協議・意見交換

○学校評価アンケート考察

～児童からの回答について～

- ・『学習面』の項目では、概ね肯定的な回答が8割～9割で昨年の数値よりも上がっている。
- ・『生活面』の重点目標「自分は、あいさつをしている。」では、82.9%から90.4%と大きく向上がみられた。
- ・『自己肯定感』の項目では、特に高学年で「分からない」の回答が多いため、自分のよさを見つけ、自信をもつことにつながるような活動を取り入れていく。
- ・『学校は楽しい』の項目では、約94%の児童が肯定的であった。「分からない」「全く当てはまらない」との回答した児童に着目し担任からの声かけが必要と考え行った。

～保護者からの回答について～

- ・『教科担任制』の項目では、「分からない」の回答が多かったが、児童がいろいろな先生に勉強をみてもらうことで話せる大人が増え、相談しやすい環境にもつながると考える。
- ・『ICT 機器』の項目では、92%の保護者がルールを守らせていると回答しているが、子供の認識とずれが気になり、また残りの8%にも注目していきたい。
- ・自由意見では、保護者からの様々な意見が集まった。普段、学校に対して思っていることを意見として出せる機会をこのCSでも増やせるとよい。

○今年度の学校運営協議会の成果

- ・7月の熟議や校内での活動を通して、児童や先生方に顔を知ってもらえ、声を掛け合うことが増えた。
- ・PTA作成の新一年生入学説明会で配布する通学路の地図にCSで参加した通学路点検を通じて危険箇所を追加し新一年生だけでなく全家庭に配布することができた。
- ・「コミュニティ・スクールだより」を初回から毎回欠かさず発行し、ホームページに掲載するこ

とができた。

- ・CS会議を定期的に行い、また地域学校協働本部でも毎月、管理職との打ち合わせを行い、議論や活動も活発に行うことができた。
- ・自転車の乗り方の改善方法について検討できた。
- ・学校評価アンケートでCSや地域の取組に肯定的な回答が85.3%と高く、評価された。

○今年度の学校運営協議会の課題

- ・CS委員として児童や先生方との距離は近くなったと感じるが、保護者との接点は少ないため、関係が浅いと感じる。今よりCSを知ってもらい、保護者の考えや意見を知りたい。例えば熟議の際に保護者にも多く参加してもらうなど、保護者からの意見を聞けるようにしていきたい。

○次年度に向けて

- ・次年度も引き続き「子供の安心・安全」について話し合う。
- ・親子が集まる行事「親子自転車教室（仮）」を計画、検討していきたい。
- ・先生方、児童、保護者の誰もが忌憚のない意見を言える「風通しの良い学校」を目指す。
- ・新一年生保護者会などでCSを紹介し、知ってもらう。
- ・「コミュニティ・スクールだより」を今よりもさらに保護者に伝わりやすく発信していく。

4 質疑応答

5 次回の学校運営協議会について

- ・第8回 2月28日(土)10:00～ 場所：校長室